

◆新造・遠洋マグロはえ縄漁船

「第八十一豊進丸」の出船送り ―池田水産株式会社―

【全国発信記事】気仙沼支部

2月1日、気仙沼港において、池田水産株式会社所属の新造船「第八十一豊進丸」（459トン）が出港した。

本船は、水産庁の「もうかる漁業支援事業」を活用し新潟造船で建造した遠洋マグロはえ縄漁船で、省エネ型の装備を備え、年間の燃油使用料を7・5%削減することができる。さらに3隻の同型船を建造することでコスト削減にも取り組んでいる。

また、後継者確保・育成対策としてILO基準に合わせた居住区を整備しているほか、船内のWi-Fi環境も整え、洋上から家族や友人とスマホでのLINEや通信が可能となった。乗組員の労働面でも作業負担を軽減するため、省力機器の導入を積極的に行い、労働環境の安全面に配慮している。

気仙沼出港当日の出船送りでは、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、大規模な催しはなかったが、集まった家族や関係者らは、本船が岸壁を離れると「いってらっしゃい」「魚いっぱいにとってきてね」と声を掛け、福来旗や五色のテープで出港を見送り、船は汽笛を鳴らしそれに応えた。

「海員だより」